

第 170 回（2013 年 2 月 17 日実施） 全経簿記検定試験
上級出題予想 【商業簿記・会計学】

科目	第1予想	第2予想	第3予想
商業簿記	連結財務諸表	損益・決算残高	貸借対照表
	仕訳(デリバティブ取引)	仕訳(ソフトウェア)	株主資本等変動計算書
会計学	理論 (会計上の変更と誤謬の訂正)	理論 (連結包括利益計算書)	理論 (四半期財務諸表)
	計算 会計方針の変更 会計上の見積り変更	理論・計算理論 売価還元法・工事契約	理論・計算理論 引当金
	計算 税効果会計	計算 外貨換算会計 (在外支店・在外子会社)	計算 有価証券・社債

◆◇なぜこう予想したのか◇◆

全経上級の試験で出題されている論点は、試験を実施している全国経理教育協会から発刊されている全経上級公式テキストに記載されている論点からほぼ出題されています。そのため、今回は上記の論点を予想としました。

【商業簿記】

第1予想は、過去161回で出題された「連結会計」をあげました。165回では仕訳問題が問われているので、今回は総合問題での出題を予想としました。特に**全経特有の連結精算表**は注意しておきましょう。

第2予想は、過去10回中5回出題された出題頻度の高い「損益・決算残高」をあげました。

財務諸表と表示面の違いを注意し、出題頻度の高い「**その他有価証券**」、「**自己株式**」、「**税効果**」、「**外貨建取引**」などは注目しておきましょう。

第3予想は、「貸借残高試算表」をあげました。過去167回では損益計算書と合わせての出題であったので、今回は**株主資本等変動計算書**との出題を予想としています。

さらに今回担当されると思われる試験委員が作成した問題から考えると、総合問題以外に**仕訳問題**が問われていますので注意しておきましょう。

【会計学】

改正論点である「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」を第1予想としました。棚卸資産と減価償却の会計処理変更が問われやすいので基準とともに押さえておきましょう。

理論と計算の両方を問う事が多いので「収益認識」を第2予想、「負債会計」を第3予想としました。

なお、第1問の正誤問題については、**同様の論点が繰り返し出題**されている場合もありますので、**過去問を解くことが最適な試験対策**となってきます。

今回も、理論問題・計算問題という枠組みを外し、全体的に注意しておくべき論点を列挙する形で予想を立てておりますので参考にいただければと思っています。

第 170 回（2013 年 2 月 17 日実施） 全経簿記検定試験
上級出題予想 【工業簿記・原価計算】

科目	第1予想	第2予想	第3予想
工業簿記	・ 実際工程別組別 総合原価計算 (度外視法と非度外視法、 追加材料の処理など)	・ 配合差異と歩留差異 (または標準原価計算 の仕損の処理)	・ ロット別個別原価計算 (総合問題)
	・ 材料勘定の記入	・ 差異の追加配賦	・ 本社工場会計
原価計算	・ 設備投資の意思決定 (取替投資)	・ セグメント別損益計算 (CVP分析、経営レバレッジ 係数、内部振替価格など)	・ 業務執行の意思決定 (自製か購入)
	・ 最適セールスマックス	・ ライフサイクル・コストニング	・ 価格決定

◆◇なぜこう予想したのか◇◆

〔工業簿記〕

全経上級では、過去には部門別計算・総合原価計算・個別原価計算・標準原価計算などが万遍なく出題されています。また前回 168 回では部門別計算が出題されています。そこで、今回は過去 10 回中 6 回と最も頻出度の高い「総合原価計算」を第 1 予想としました。総合原価計算では、度外視法非度外視法のように、複数の計算方法がある場合、1 つの計算資料から**双方を比較させる問題**が出題されますが、こうした問題に不慣れな方は過去問題等で十分に慣れておくようにしましょう。

第 2 予想には「標準原価計算」の**配合差異・歩留差異**をあげました。また、それ以外の論点では仕損の処理や標準原価計算の追加配賦なども確認しておきましょう。

第 3 予想には「ロット別個別原価計算」を挙げています。また、全経上級特有の出題論点である「**本社工場会計**」の内部利益の控除は知らないと解けないものです。仕訳の流れも含めて、おさえておきましょう。

〔原価計算〕

全経上級では、過去に直接原価計算・意思決定・戦略的原価計算の 3 つの論点から出題されています。

特に「**CVP 分析（直接原価計算）**」と「**構造的意決定（意思決定）**」は頻繁に出題されています。

また前回 168 回では CVP 分析が出題されています。そこで「設備投資の意思決定」を第 1 予想に挙げました。また、CVP 分析は過去にも連続して出題されたことがあります。そこで直接原価計算の論点の 1 つである**セグメント別損益計算**での CVP 分析を第 2 予想に挙げました。

第 3 予想はもう一つの意思決定である「業務執行の意思決定」を挙げました。

なお、戦略的原価計算からは「ライフサイクル・コストニング」を挙げています。

文章問題も考慮にいれて確認しておきましょう。